



Windowsの起動速度を計測！高速化！

BootRacer

ブートレーサー **Premium**

利用ガイド

LIFEBOAT
a megasoft company

目次

第1章	はじめに	3
1-1	動作環境	3
1-2	注意事項	3
第2章	インストールと製品登録	4
2-1	インストール	4
2-2	製品登録	9
2-3	アンインストール	11
第3章	使用方法	13
3-1	BootRacer の起動と画面の説明	13
3-2	起動テスト	14
3-3	履歴	19
第4章	スタートアップ制御	23
4-1	設定、詳細結果の確認	23
4-2	無効にする	24
4-3	スタートアップの順番を変更する、設定を復元する	25
第5章	設定	27
5-1	オプション	28
5-2	スクリーンショットの取得	30
5-3	アップデートのチェック	30
第6章	その他の機能	31
6-1	完了画面のカスタマイズ	32
6-2	完了画面の自動変更	33
6-3	Ultimate Service Optimizer	34
6-4	コンテスト	36

第1章 はじめに

『BootRacer Premium』（ブートルーサー プレミアム、以降「Boot Racer」）は、Windows が起動するまでの時間を計測、評価し、Windows の起動を最適化することができるソフトウェアです。また、バックグラウンドで自動起動するスタートアッププログラムの個々の起動時間も計測できるので、起動を遅くしているプログラムを特定したり制御することで、パソコン全体の起動を高速化することが可能です。起動時間は、履歴として管理できるので、パソコンの健康度を測るバロメータとして利用できる他、起動速度を競うコンテスト(英語の Web サイト)に参加することができます。

1-1 動作環境

<必要なシステム>

対応 OS:	日本語 Windows 10/8.1/7 ※32ビット版、64ビット版に対応
対応機種:	上記 OS が正常に動作するパソコン (PC/AT 互換機)
対応 CPU:	1GHz 以上のインテル互換 CPU
メモリ:	2GB 以上(4GB 以上を推奨)
ディスクの空き容量:	100MB 以上の空き

1-2 注意事項

- 本製品は、特定の 1 台のパソコンにインストールして使用することができます。
- Windows の「高速スタートアップ」が有効になっている場合は、電源 OFF 状態から起動した際の測定は行われません。詳細は『3-3』の「※ログオンまでの時間が計測されない場合」をご参照ください。
- ご利用のソフトウェアによっては、スタートアップ制御が適用されない場合があります。(ウイルス対策ソフト等)
- コンテスト機能についてはサポートを行っておりません。

第2章 インストールと製品登録

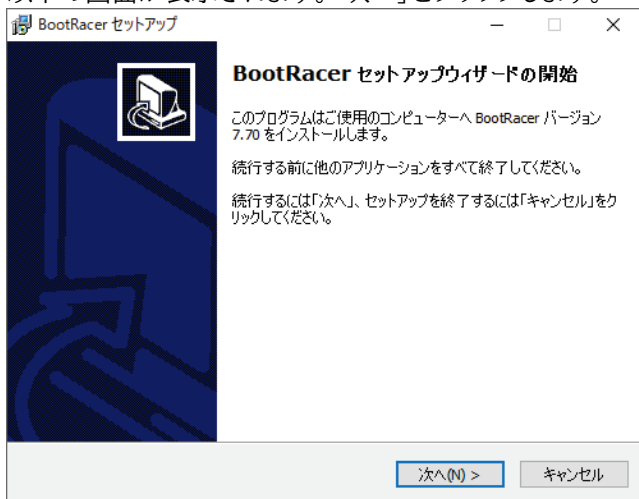
2-1 インストール

- (1) ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、「インストール」をクリックします。
- (2) 以下の画面が表示されましたら「インストール」をクリックしてください。

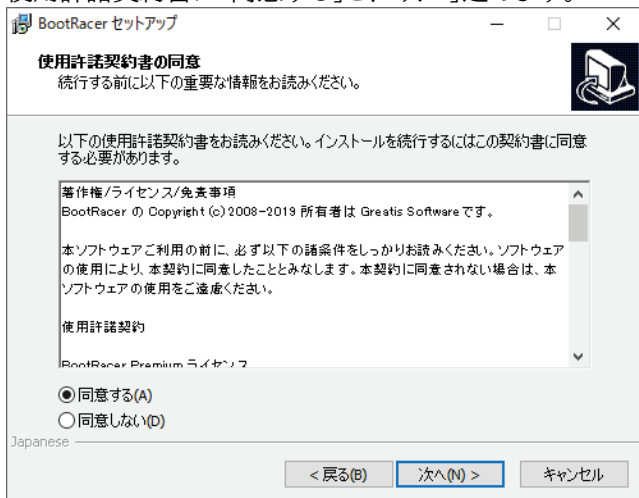


- (3) ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。

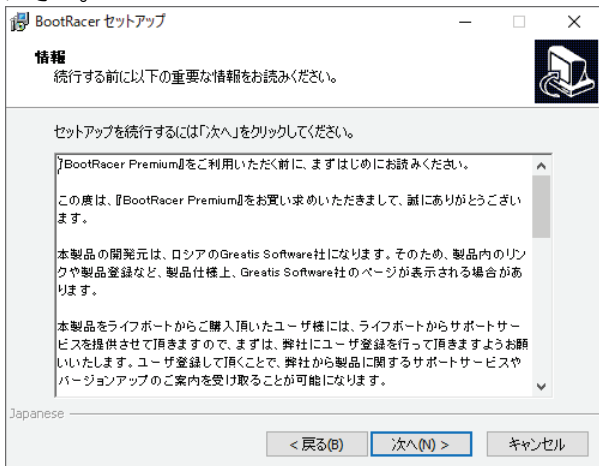
- (4) 以下の画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



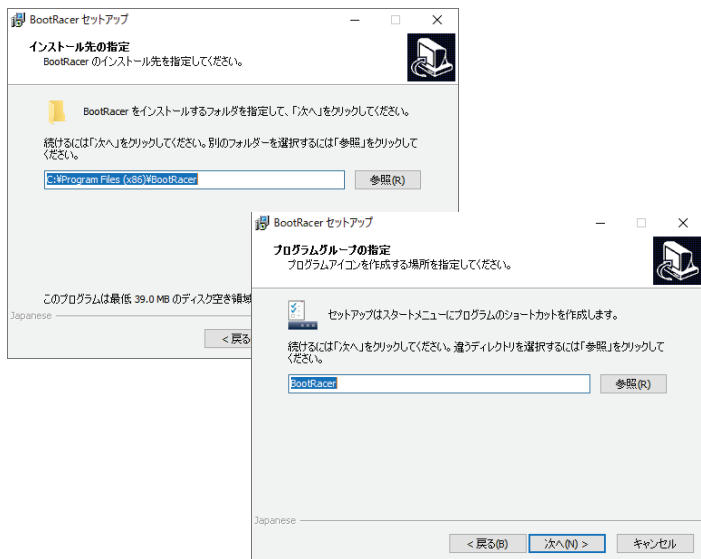
- (5) 使用許諾契約書に「同意する」と、「次へ」進めます。



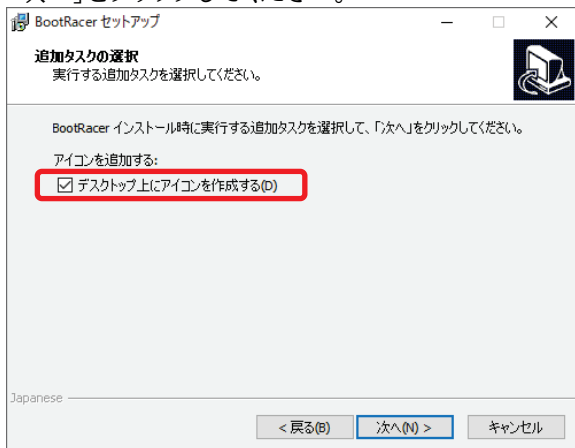
- (6) 製品について表示されます。よろしければ「次へ」をクリックしてください。



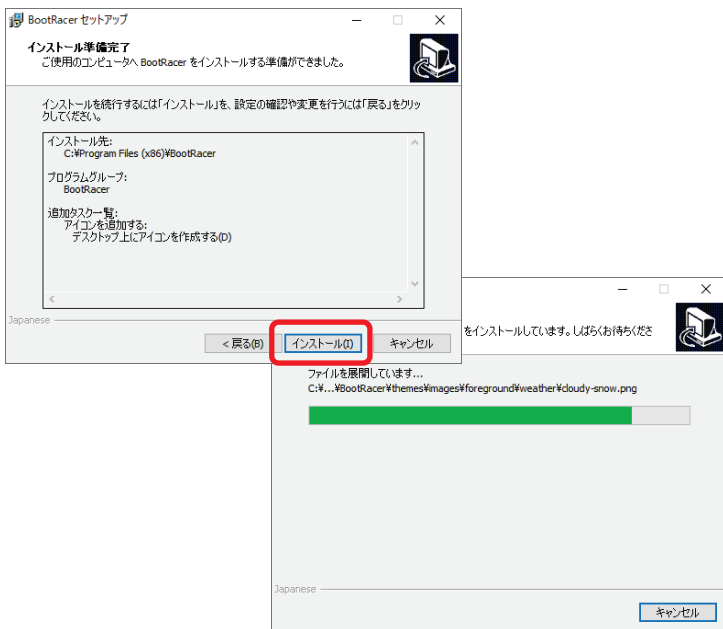
- (7) インストールフォルダとアイコンを作成する場所は、通常は変更せずに「次へ」お進みください。



- (8) デスクトップにアイコンを作成したい場合は、チェックを入れてから「次へ」をクリックしてください。



- (9) 「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。



(10) 「完了」をクリックしてください。



(11) BootRacer が起動します。続けて『2-2』へ進み、製品登録(ライセンス認証)を行ってください。



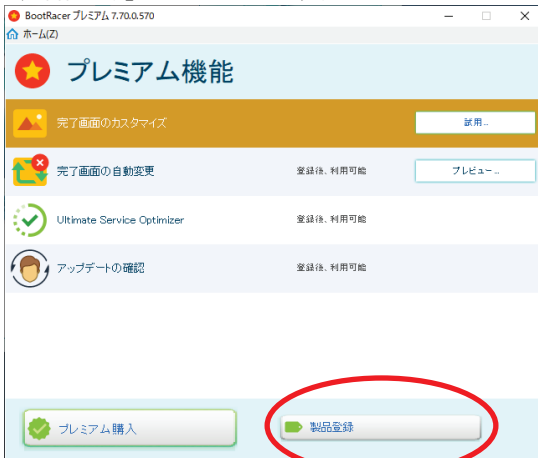
2-2 製品登録

ライセンスキーを登録することで、プレミアム版に切り替わります。
インストール後は最初に下記の手順を行ってください。

(1) 「→プレミアム」をクリックしてください。



(2) 「製品登録」をクリックします。



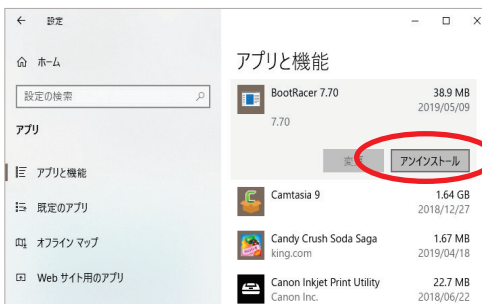
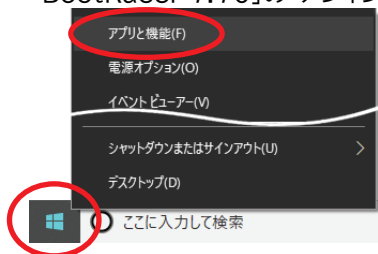
2-3 アンインストール

アンインストールが必要になった場合は下記の手順で行ってください。

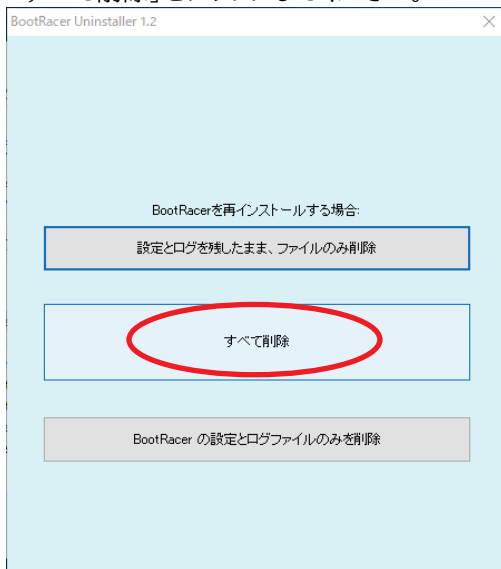
- (1) 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」画面から「アンインストール」をクリックします。



- ※ Windows 10 では、「スタート」を右クリック「アプリと機能」を選択し、「BootRacer 7.70」の「アンインストール」ボタンからも可能です。



- (2) ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
- (3) 「すべて削除」をクリックしてください。



第3章 使用方法

3-1 BootRacer の起動と画面の説明

BootRacer の画面を立ち上げるには、デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、または「スタート」ボタンから「BootRacer」をクリックしてください。



下記の画面が表示されます。インストールと製品登録を行った後は、続いて『3-2』にお進みください。

『3-2』の手順を行うと表示されます。

The screenshot shows the BootRacer 7.70.0.570 application window. The main display area is enclosed in a red dashed box and contains the following information:

- System: Windows-10-64(17763) PC
- Progress: プレブート (13) → Windowsブート (7) → パスワード/アカウント (17) → デスクトップ (準備完了)
- Desktop display time: **30.312**
- Startup time trend graph with data points: 54.687, 39.609, 39.562, 46.89, 45.187, 41.812, 62.437, 30.312
- Buttons: 履歴 (History), コンテスト (Contest)

On the right side of the window, there are several buttons and a premium status indicator:

- 3 結果の確認 (Check Results) - Callout: 第4章をご参照ください。
- 設定... (Settings) - Callout: 第5章をご参照ください。
- スタートアップ制御 (Startup Control) - Callout: 第4章をご参照ください。
- プレミアム版 アクティベーション済み (Premium Edition Activated) - Callout: 第6章をご参照ください。
- プレミアム (Premium) - Callout: 第6章をご参照ください。

『3-3』をご参照ください。

『6-4』をご参照ください。

3-2 起動テスト

画面の表示にそって操作すると、最初に通常の Windows の起動時間を測定し、その後に BootRacer のスタートアップ制御機能を適用して起動時間を測定します。スタートアップ制御の効果を確認することができます。

- (1) 普段の Windows の起動時間を測定します。「①フル起動テスト」をクリックしてください。



- (2) 「テスト開始」をクリックします。



- (3) 「はい」をクリックすると、PC が再起動します。



- (4) 再起動時に、BootRacer が起動時間を測定します。画面右下にアニメーションやポップアップが表示されますので完了するまでお待ちください。



- (5) 下記のような画面が表示されましたら起動終了です。ポップアップをクリックしてください。(または、「スタート」等から BootRacer を立ち上げてください。)



ここをクリックしてください。

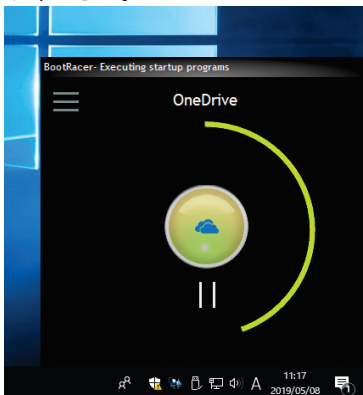
- (6) 「②クリーン起動テスト」をクリックしてください。



- (7) 1 回目の起動の測定結果を確認できます。
続いて、スタートアップ制御機能を適用した場合の起動時間を測定します。「②クリーンテストの実行」の「テスト開始」をクリックしてください。1 回目と同様に PC を再起動します。



- (8) 再起動時に、(4)に加え、スタートアップに設定されている各ソフトの起動を最適化する処理が加わります。起動が完了するまでお待ちください。



(9) 起動完了後 BootRacer の画面を立ち上げ、スタートアップ制御適用時の起動時間をご確認ください。



※ 結果の詳細とスタートアップ制御については『第 4 章』をご参照ください。

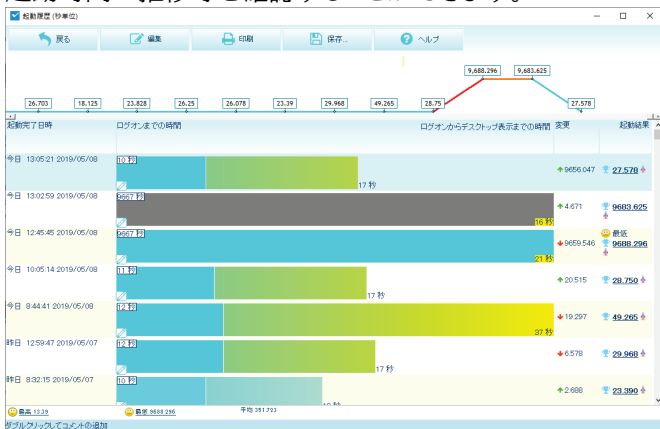
3-3 履歴

初期設定では、PC の起動/再起動ごとに測定する設定になっています。(設定を変更するには『5-1』(1)をご参照ください。)これまでの起動、再起動の履歴を確認することができます。

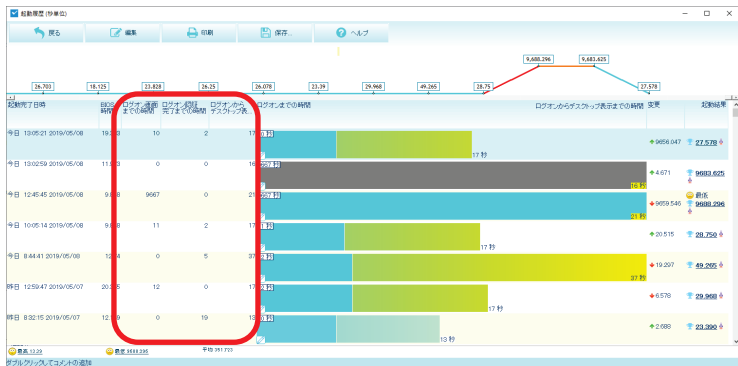
- (1) 「履歴」-「起動時間の履歴」をクリックします。



- (2) 起動時間の推移等を確認することができます。



※ 任意の箇所でも右クリックし「詳細を表示」を選択すると、「ログオン画面までの時間」、「ログオン認証完了までの時間」、「ログオンからデスクトップ表示前の時間」を確認できます。



※ ログオンまでの時間が計測されない場合

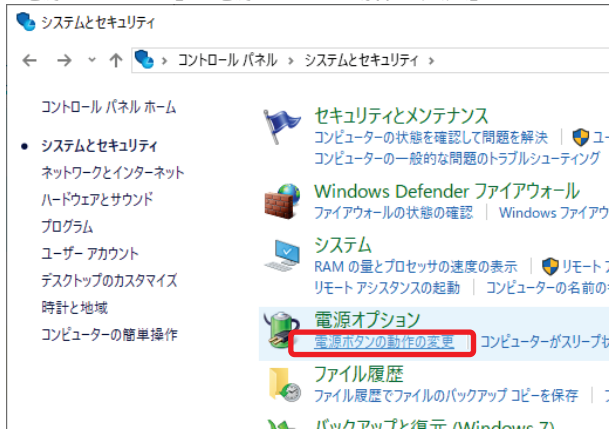
BIDS 時間	ログオン画 までの時間	ログオン認 完了まで...	ログオンから デスクトップ表示までの時...	ログオンまでの時間
5/08 11:61	0	0	19	20分
5/08 11:59	0	0	17	20分
5/08 11:58	0	0	19	20分
5/08 556.76 5	20	10	17	20分
5/08 421.19 4	19	25	17	19分

Windows 10/8 環境で「高速スタートアップ」が有効になっていると、ログオンまでの時間が計測されません。(再起動時は計測されます。)

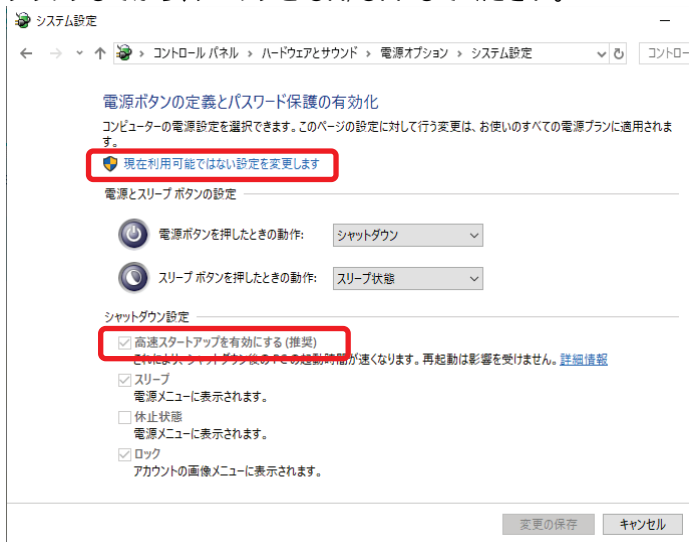
高速スタートアップは、下記手順でご確認いただけます。
「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」をクリックします。



「電源オプション」-「電源ボタンの動作の変更」をクリックします。



設定を変更する場合は、「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックしてから、チェックを ON/OFF してください。



第4章 スタートアップ制御

「スタートアップ制御」は、Windows のスタートアップに設定されている各ソフトの起動を最適化し、起動時間を短縮します。

スタートアップ制御の機能は、製品をインストール後『3-2 起動テスト』の「②クリーンテスト」を実行すると、自動的に有効になります。

4-1 設定、詳細結果の確認

こちらのボタンをクリックしてください。(ステータスによりボタンの表示は変化します。)

The screenshot displays the BootRacer 7.70.0.570 application window. The main window shows a progress bar for the start-up process, divided into four stages: フルブート (19), Windowsブート (10), パスワードタイムアウト (2), and デスクトップ (17). A red circle highlights the '3 結果の確認' (Check Results) button. Below the progress bar, there is a '設定...' (Settings) button. An inset window titled 'スタートアップ制御' (Start-up Control) is overlaid on the bottom right, showing the following details:

- 1 フルブート時間: 51.656 秒 (New Test button)
- 2 ブート時間のクリア: 38.343 秒 (Test Repeat button)
- 3 スタートアップ プログラム時間: 13.313 秒 (Speed Down button)

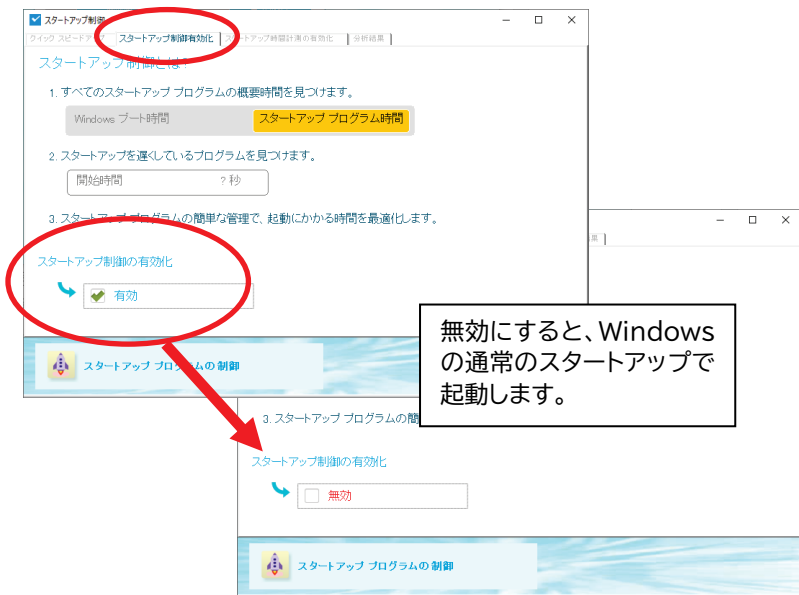
At the bottom of the inset window, there is a section for 'スタートアッププログラムの制御' (Start-up Program Control).

「分析結果」タブから、スタートアップを遅くしているプログラムについて、詳細を確認することができます。

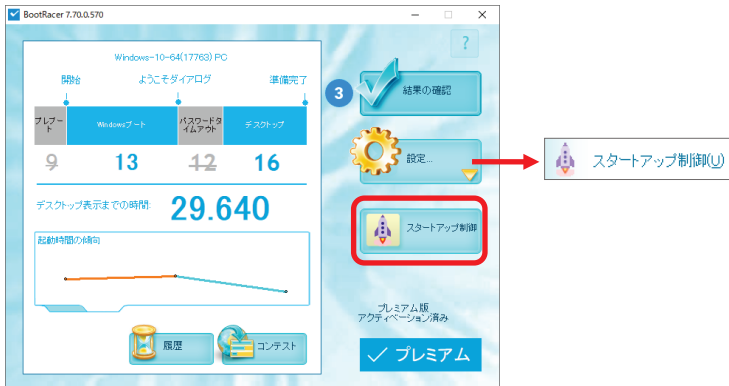


4-2 無効にする

「スタートアップ制御有効化」タブで、 のチェックを外してください。




4-3 スタートアップの順番を変更する、設定を復元する



スタートアップ制御が有効になっている場合は、トップ画面の「スタートアップ制御」ボタン、または「設定」から「スタートアップ制御」をクリックすると、下記の画面が表示されます。ソフトごとにスタートアップを停止したり、スタートアップの順番を変更することができます。



また、 ボタンから、過去のスタートアップの状態をレストアすることができます。戻りたい状態のものを選択して「レストア」をクリックしてください。



第5章 設定

BootRacer の設定についてご案内いたします。



The screenshot shows the BootRacer 7.70.0.570 application window. The main window displays a progress bar with four stages: '開始' (Start), 'Windowsブート' (Windows Boot), 'パスワード入力/ログアウト' (Password Input/Logout), and 'テスト完了' (Test Complete). The progress bar shows 19, 10, 2, and 17 respectively. Below the progress bar, it indicates 'デスクトップ表示までの時間: 27.578' (Time to desktop display: 27.578) and a button for 'スタートアップアプリを制御して高速化' (Accelerate by controlling startup apps) with a sub-button '制御の有効化' (Enable control). A red box highlights the '設定' (Settings) button in the top right corner. A menu is open, listing various options: 'オプション(O)...', 'スタートアップ制御(U)', 'BootRacer プレミアム(B)', 'サポート(V)', 'スクリーンショットの取得(W)', 'アップデートのチェック(X)', '言語(Y)', and 'バージョン情報(Z)'. Arrows point from the 'スタートアップ制御' and 'BootRacer プレミアム' menu items to a text box.

スタートアップ制御については『第4章』、
BootRacer プレミアムについては『第6章』をご参照ください。

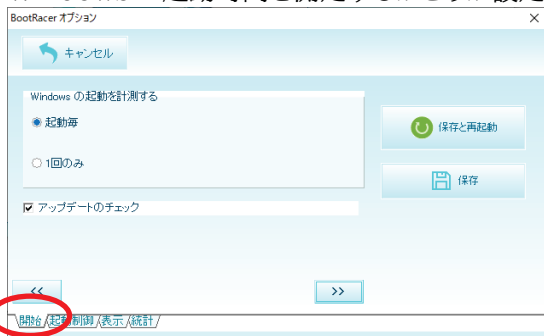
5-1 オプション

開始、起動制御、表示、統計タブからそれぞれ設定することができます。設定を変更した場合は「保存と再起動」または「保存」をクリックしてください。

※ ご利用の OS によっては設定が動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

(1) 「開始」タブ

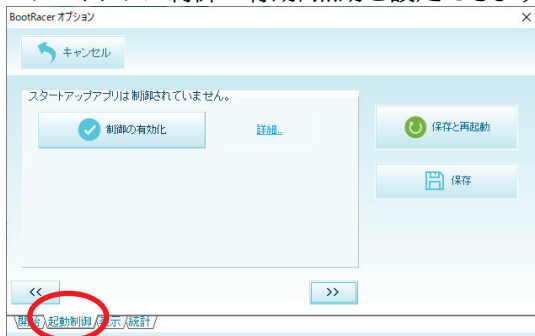
Windows の起動時間を測定するかどうか設定できます。



※ 「1回のみ」を選択し「保存」すると、その後の再起動で1回測定され、2回目以降の起動時には測定されません。その後何らかの設定を変更した場合、変更後1回の起動が測定されます。

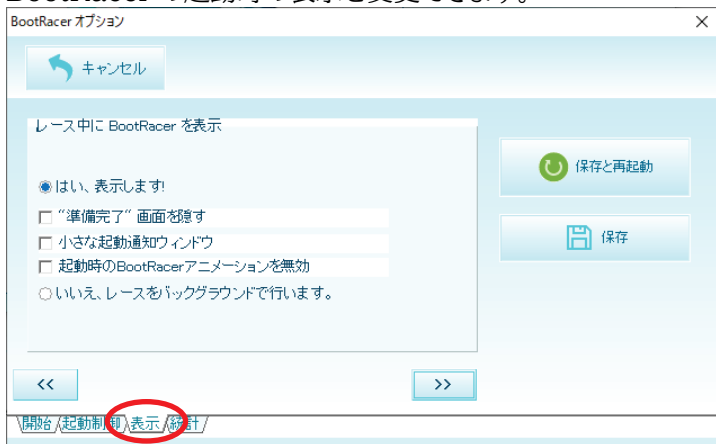
(2) 「起動制御」タブ

スタートアップ制御の有効/無効を設定できます。



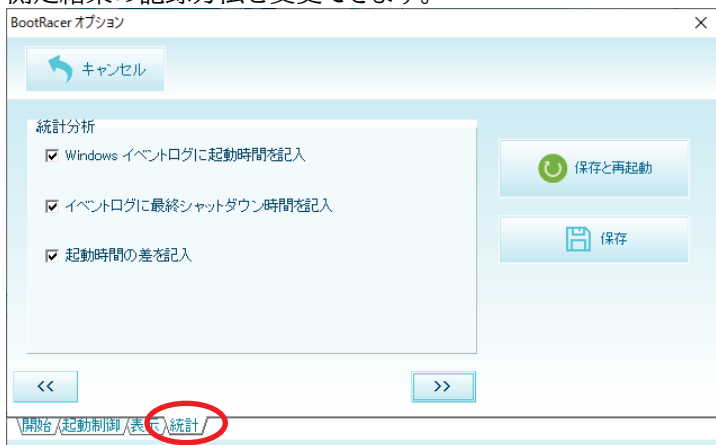
(3) 「表示」タブ

BootRacer の起動時の表示を変更できます。



(4) 「統計」タブ

測定結果の記録方法を変更できます。



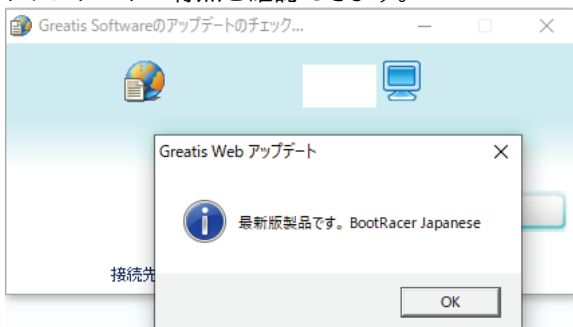
5-2 スクリーンショットの取得

BootRacer のトップ画面のスクリーンショットを保存することができます。新記録が出た際などにご利用ください。



5-3 アップデートのチェック

アップデートの有無を確認できます。

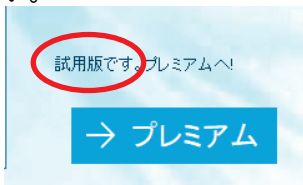


第6章 その他の機能

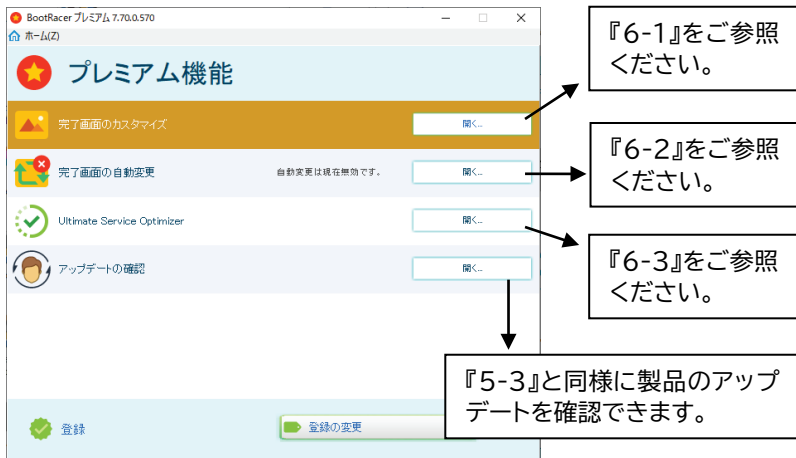
TOP 画面から「プレミアム」をクリックした場合に使用できる機能をご案内いたします。



※ 「試用版です。」と表示されている場合は、製品登録が行われていません。あらかじめ『2-2』の製品登録を行ってから、次の手順へおすすめください。



「プレミアム」をクリックすると、下記の画面が表示されます。



6-1 完了画面のカスタマイズ

完了時のポップアップ画像を選択することができます。



6-2 完了画面の自動変更

完了画面を起動ごとに自動で変更することができます。



6-3 Ultimate Service Optimizer

使用していない機能や不要なサービスを停止し、最適化することができます。

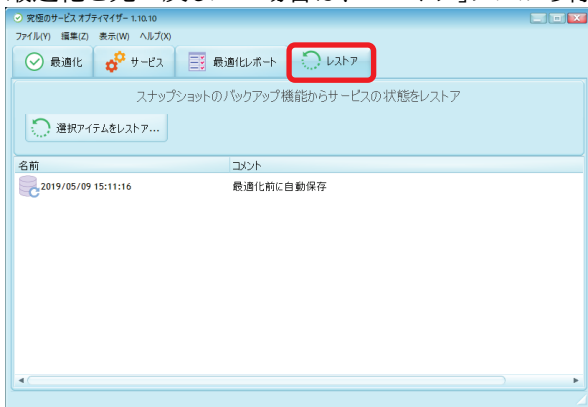
【最適化タブ】

ファイルシステム、Hyper-V 機能、不要な機能、不要なハードウェアの中から、もし最適化が不要な項目があればチェックを外し、「最適化」をクリックしてください。



最適化が不要な項目はチェックを外してください。

最適化を元へ戻したい場合は、「レストア」タブから行ってください。



【サービスタブ】

サービスの開始(自動/手動/無効)を変更することができます。



元に戻す場合は、「元に戻す」ボタンから、戻す項目の「元に戻す」をクリックしてください。

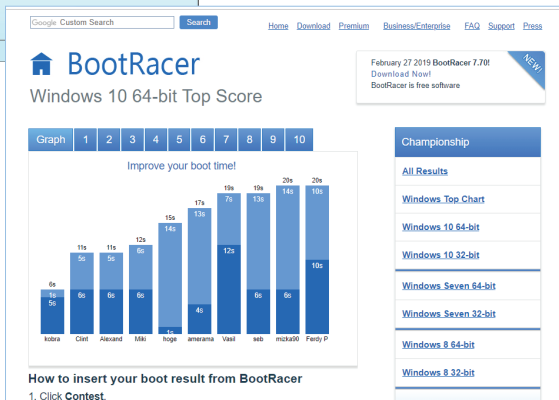


6-4 コンテスト

よい記録が出たら、Web 経由でコンテストに参加することができます。
 (英語のサイトです。サポートは対象外となります。)



万一「コンテスト」ボタンが表示されない場合は、「結果の確認」から「テスト繰り返し」を行ってください。



使用許諾契約書

当製品をご使用前に、下記のライセンス契約書を必ずお読みください。本使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、下記に示されたライフポート ソフトウェア製品(以下「ソフトウェア製品」といいます)に関してお客様(以下「甲」といいます)と株式会社ライフポート(以下「乙」といいます)との間に締結される契約書です。ソフトウェア製品を開封、インストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約の条項に同意し、契約が成立したものとします。本契約の条項に同意されない場合、株式会社ライフポートは、お客様にソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できませんので、予めご了承ください。

第1条 定義

1. ソフトウェア製品
本契約に基づき、乙が甲に提供するプログラムおよび関連資料を包括していい、改良版のソフトウェア製品が提供された場合には、当該改良版のソフトウェア製品をいう。
2. プログラム
機械読取可能な形式で提供されるデータ処理プログラムをいう。
3. 関連資料
プログラム以外の資料で、乙がプログラムの使用に関連して提供する、乙指定の資料をいう。

第2条 契約の目的

乙は甲に対しソフトウェア製品を非独占的に使用する譲渡不能な権利を許諾する。

第3条 契約期間

本契約は、本契約成立時から、甲または乙が本契約に従い解約するまで存続する。

第4条 使用権

1. 甲は、プログラムを1ライセンスにつき1台のコンピュータで使用することができる。また、印刷物の形で提供されたソフトウェア製品を本契約の目的に従って使用することができる。
2. 甲は、本契約に基づく使用権につき再使用権を設定し、またはソフトウェア製品もしくはその複製物を第三者に譲渡、転貸もしくは占有の移転をしてはならない。ただし、甲の管理の下で甲のためにソフトウェア製品を第三者に使用させる場合はこの限りでなく、甲の使用とみなすものとする。
3. 甲がマルチライセンスパックを購入した場合、本契約以外の書面(パッケージ等)において指定される許諾数だけのコンピュータにインストールできる。

第5条 複製権

甲は、ソフトウェア製品の一部分または全部をバックアップコピー作成のためにのみ、複製及び複写することができる。甲は上記の目的以外のために、ソフトウェア製品の一部分または全部を、メディアを問わず、転写、複製または複写してはならない。

第6条 危険負担

納入前に生じたソフトウェア製品および記録媒体の喪失または損傷は、甲の責に帰すべきものを除き乙の負担とし、納入以後に生じたこれらの損害は乙の責に帰すべきものを除き甲の負担とする。

第7条 保証

1. ソフトウェア製品の媒体及び関連資料に、物理的欠陥がある場合、甲がソフトウェア製品を購入してから90日間に限り、無償で乙より交換を受けることができる。
2. 乙は、ソフトウェア製品が甲の特定の使用目的に適合することを保証するものではない。また、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア及びサポートサービスに関して一切の保証を行わないものとする。
3. 前各項の定めは、本契約に基づく法律上の瑕疵担保責任を含む、乙の保証責任のすべてを指定したものとする。

第8条 乙の責任および責任の制限

4. プログラムの不稼働を含む稼働不良のすべての場合において、乙の責任は誤りの訂正に合理的努力を尽すことに限られるものとする。
5. 法律上の請求の原因の種類を問わず、乙は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェア製品の使用もしくは使用不能、サポートサービスの提供もしくは提供不能またはその他本契約書に関して生じる特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害、

またはその他の一切の損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失、誠実義務または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、過失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない）に関しては、乙の過誤、不法行為（過失を含む）、無過失責任、契約違反または保証違反の

場合であっても、一切責任を負わないものとする。たとえ、乙がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様である。

6. 本ソフトウェア又はサポートサービスに起因して、甲、もしくはその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、乙は一切の責任を負わないものとする。本契約のもとで、理由の如何を問わず、乙が甲、又はその他の第三者に対して負担する責任の総額は、損害の原因となった本ソフトウェアに対して本契約のもとで甲が実際に乙へ支払った対価の100%を上限とする。

第9条 著作権等の侵害に関する損害賠償責任

7. ソフトウェア製品の使用が、第三者の著作権または工業所有権等の知的所有権を侵害したという理由で、甲が第三者より請求を受けた場合には、甲が次の各号所定のすべての要件を満たす場合には、乙の責任と費用負担で、当該請求を処理解決するものとし、甲に一切の損害を及ぼさないものとする。

- (1) 甲が第三者から請求を受けた日から速やかに、乙に対し請求の事実および内容を通知すること。

- (2) 甲が第三者との交渉または訴訟の遂行に関し、乙に実質的な参加の機会および決定の権限を与え、ならびに必要な援助をすること。

8. 乙は、甲が次の各号の一に該当する場合には、甲に対し前項所定の責任を負わない。

- (3) 甲が乙提供以外のプログラムと組合わせて使用したことに起因するとき。

- (4) 甲が本契約に違反してソフトウェア製品を使用したことに起因するとき。

第10条 ソフトウェア製品の変更または改作

甲は、自己の使用のため、必要な場合を除き「乙の許可なく」ソフトウェア製品を変更、または改作してはならない。

第11条 解約および解除

9. 甲は、乙に30日前の書面による通知をして、任意に解約することができる。

10. 甲または乙は、相手方に次の各号に掲げる事由の一が生じたときには、なんらの催告なしに直ちに本契約を解除することができる。

- (5) 支払いの停止または破産、和議開始、会社更正手続開始、会社整理開始もしくは特別清算開始の申立があったとき。

- (6) 手形交換所の停止処分をうけたとき。

11. 甲または乙は、本契約に違反すること等相手方の債務不履行が相当期間を定めてした催告後も是正されないときは、本契約を解除することができる。

12. 前各項の適用によりソフトウェア製品の使用权が消滅した場合には、甲は返還または破棄の手続きを行うものとする。

第12条 ソフトウェア製品の返還または破棄

13. 甲は、使用权の消滅後2週間以内にソフトウェア製品およびすべての複製物（変更または改作されたものを含む）を、乙に返還または破棄するものとする。

14. 甲は、前項による返還または破棄と同時に、前項所定の実事を証明する書類を乙に提出する。

第13条 合意管轄

本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、乙本店所在地を管轄する裁判所を専属管轄裁判所とする。

第14条 協議

本契約に関して疑義が生じた場合には、両当事者は信義誠実の原則に従い協議するものとする。

